

第5次総合計画 中期戦略事業プラン 事務事業評価シート

事業名	市政広報活動事業			事業番号	35-101
事務事業担当	部名	部長名	課名	課等の長	
	企画部	吉川 幸輝	広報戦略課	成田 勝也	

計 画 (Plan)

総合計画体系	自治力	まちづくり目標	5	みんなで考え行動するまち	
		基本政策	10	市民と行政がともに力を合わせて歩むまちづくり	
		施策展開の方向	1	地域の力が発揮できるまちをつくる	
		施策	35	市民に身近な市役所づくり	
予算事業名	市政広報活動事業費		広報いせはら編集発行事業費		
事務区分〔選択〕	<input checked="" type="radio"/> 自治事務 <input type="radio"/> 法定受託事務 (選択してください)→			法令上の位置づけ	実施する規定はない
事業開始年度	開始年度	平成25年度以前	～	終了年度	—
関連法令等	—				
国・県の計画等	—			計画期間	—
関連個別計画	—			計画期間	—
実施の背景 (事業を取りまく環境・市民ニーズ)	市民の市政に対する関心を高め、市民と行政が力を合わせてまちづくりを推進するため、市民により的確に市政情報を提供することが求められています。				
目的 (何をどうしたいのか)	行政情報を市民に分かりやすく提供し、市政に関する情報の共有化を図り、市民が身近に感じることができる透明性の高い市役所づくりを推進します。				
主な対象 (誰・何を対象に)	市民				
事業内容 (手段、手法など)	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語翻訳機能の拡大などホームページ機能の充実を図るとともに、広報いせはらの紙面充実を図ります。 ・新聞社等への情報提供の強化を図ります。 				
事業行程	項目	年度			
		28年度	29年度		
	パブリシティの強化	継続実施	継続実施		
	ホームページの強化	継続実施	継続実施		
広報いせはらの充実	継続実施	継続実施			
目 標	【指標名】	【現状】	年度		
			28年度	29年度	
	新聞社等への情報提供数	479件	515件	530件	



事業実施 (Do) へ

事業実施 (D○)

事業の「取組方針」 (前年度事務事業評価)	職員の意識改革や編集上の工夫により、基幹業務である広報いせはらの充実に取り組むとともに、多様な広報ツールを戦略的に組み合わせ、効率的に情報発信をしていきます。			
実施方法 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> すべて直接実施 <input checked="" type="radio"/> 左記以外			
	<input checked="" type="checkbox"/> 業務委託	<input type="checkbox"/> 指定管理	委託先又は指定管理者 神奈川新聞社	
	<input type="checkbox"/> 補助金		補助先	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他		具体的内容 直営実施	
実施結果	項目	年度		
		28年度	29年度	
	パブリシティの強化	継続実施	継続実施	
	ホームページの強化	継続実施	継続実施	
	広報いせはらの充実	継続実施	継続実施	
実施した取組の内容	広報いせはらを定期発行するとともに、新聞未購読世帯に対してポスティング配布を実施しました。また、パブリシティを強化するとともに、公式ホームページ、SNS等を運用し、広範に市政情報等を発信しました。			
目標の達成状況		【現状】	年度	
			28年度	29年度
	新聞社等への情報提供数	479件	557件	506件

年度		28年度 実績				29年度 実績			
事業費合計 (a)		27,420		千円	27,047		千円		
内訳	国県支出金 ①	0		千円	0		千円		
	地方債 ②	0		千円	0		千円		
	その他特財 ③	4,792		千円	4,042		千円		
	一般財源 (a)-①-②-③	22,628		千円	23,005		千円		
国県支出金の内容									
コスト	その他特財の内容	受益者負担	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無		前回の改定時期				
		その他	有料広告収入						
人件費	正規職員	1.70	人	14,705	千円	1.70	人	14,841	千円
	その他の職員	0.24	人	583	千円	0.24	人	581	千円
	人件費合計 (b)	1.94	人	15,288	千円	1.94	人	15,422	千円
トータルコスト (a)+(b)				42,708	千円			42,469	千円
単位当たりコスト	対象数	定義	市民		単位	市民		単位	
		対象数	101,635	人			102,037	人	
		総事業費／対象数	420	円			416	円	

評価 (Check)へ

評 価 (Check)				
進捗状況 [選択・記入]	<input checked="" type="radio"/> 計画どおり (A) <input type="radio"/> 概ね計画どおり (B) <input type="radio"/> 計画どおり進捗せず (C)	A	左記判断理由	広報いせはら、公式ホームページ、公式SNS等、多様な情報発信ツールを活用し、迅速で的確な市政情報の発信を行いました。
実施水準 [選択・記入]	<input type="radio"/> 他市より高い水準で実施 (A) <input checked="" type="radio"/> 他市と同水準で実施 (B) <input type="radio"/> 他市より低い水準で実施 (C) <input type="radio"/> 一律に比較できない事業	B	他都市の事業内容等	記者クラブの不在を補完すべく積極的なパブリシティを行い、過去最多の本市関連記事がマスメディアに掲載されました。一方、広報紙の発行に関しては、近隣市と比較して紙面量が少ない状況にあります。
有効性 [選択・記入]	<input checked="" type="radio"/> 高い (A) <input type="radio"/> 普通 (B) <input type="radio"/> 低い (C)	A	左記判断理由	市民の市政への理解や関心を深めていくには、多重的で透明性の高い市政情報の提供が必要不可欠です。
効率性 [選択・記入]	<input checked="" type="radio"/> 効率的に実施されている (A) <input type="radio"/> 改善の余地がある (B) <input type="radio"/> 抜本的な改善が必要である (C)	A	左記判断理由	市政情報に加え、地域情報を含めて積極的なパブリシティを展開しており、マスメディアの効率的な活用ができています。


 取組の改善 (Action)へ

取組内容の改善 (Action)	
事業推進上の課題	情報発信ツールの多様化、パブリシティ態勢の強化に伴う、要員の確保が必要です。また、広報いせはらにより多くの市政情報を掲載するため、紙面の刷新を検討する必要があります。
次年度以降の取組の方向性	多様な情報発信ツールを戦略的に組み合わせて、効率的に情報発信を行うとともに、制作業務委託のデザインコンペを実施し、広報いせはらの紙面刷新に取り組みます。
所管部長による総評	正確かつ迅速な情報発信は、行政の円滑な推進に資するものです。まずは、多くの市民に知ってもらい、興味を持ってもらうことが肝要であるため、多様な情報発信手段を用いるとともに、一層の工夫を凝らすことを不断の取組とします。